

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)  
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
 E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
 URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 岩尾 誠  
 副 会 長 : 水上成樹  
 幹 事 : 三原慎也  
 公共イメージ : 西川 昇  
 会報担当者 : 長尾信幸・河合和也

2020 年度国際ロータリー会長：ホルガー・クナーク (Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータークラブ・ドイツ)

2020 年度国際ロータリーテーマ：Rotary Opens Opportunities(ロータリーは機会の扉を開く)

＜本日のプログラム＞

第 2710 回 令和 3 年 4 月 8 日 第 2 木曜日  
 会員卓話 岩出明喜会員

＜次回の予定＞

第 2711 回 令和 3 年 4 月 15 日 第 3 木曜日  
 会員卓話 和田英人会長エレクト

＜前回の記録＞

第 2709 回 令和 3 年 4 月 1 日 木曜日  
 外来卓話 夢なびふぁーむ 高坂孝子様

司 会 進 行 可児一彦副 SAA

点 鐘 岩尾 誠会長

ソ ン グ 国歌「君が代」・奉仕の理想

情 報 の 時 間 林 健吉情報担当責任者

「ロータリーの目的」朗読

「四つのテスト」唱和

来 客 紹 介 野田三津雄プログラム担当責任者

夢なびふぁーむ 高坂孝子様

4 月のお祝 廣瀬泰輔親睦委員長

会員誕生日



2 日 田代東次郎 13 日 小笠原正道

14 日 畑中伸夫 17 日 前田伊三夫

28 日 川井昭司 29 日 森下 光

結婚記念日



2 日 三原慎也・早苗ご夫妻

5 日 大畑於左武・敏子ご夫妻  
 17 日 村土時男・芳兄ご夫妻  
 21 日 河合和也・幸ご夫妻  
 26 日 林 健吉・満美ご夫妻

1 分間スピーチ 畑中伸夫会員



久しぶりの 1 分間スピーチです。  
 去年の 4 月からこの 1 年間くらい  
 で体重が 5 キロ増えましたので、  
 これ以上増えないように健康に注  
 意して体重管理をしていきたいと  
 思います。ありがとうございました。

出 席 報 告 大川達也出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名(免除 2 名)	34 名	3 名	37 名	100%

ニ コ B O X 山下友幸ニコ BOX 担当責任者

・夢なびふぁーむ高坂様、卓話宜しくお願ひします。  
 岩尾 誠

・夢なびふぁーむの高坂様、ようこそ郡上八幡 RC  
 へ。卓話を楽しみにしています。 三原慎也

・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1  
 ありがとう。 森下 光・河合 修

・ポール・ハリス・フェローありがとうございます。  
 松本英樹

・会員誕生日のお祝をありがとう。

田代東次郎・小笠原正道・畑中伸夫  
 川井昭司・森下 光

・結婚記念日のお祝をありがとう。

三原慎也・村土時男・河合和也・林 健吉

- ・本日の外来卓話 高坂孝子様 宜しくお願いします。

遠藤一史・林 健吉・平岩憲政・廣瀬泰輔  
 岩出明喜・可児一彦・河合 修・國田大雄  
 松本英樹・森下 光・村井裕孝・村土時男  
 長尾信幸・西村 肇・野田三津雄  
 大川達也・酒井智義・坂本 仁・竹内巧治  
 田中義久・田代東次郎・和田英人・渡邊 剛  
 山川直保・山下友幸

## 幹事報告 三原慎也幹事

- ・RI 日本事務局より「在宅勤務延長」のお知らせ
- ・RI 日本事務局経理室より 4 月 RI レートのお知らせ 1 ドル=110 円
- ・ガバナー事務所よりガバナー月信 4 月号配信のお知らせ
- ・ガバナーエレクト事務所より地区研修・協議会のご案内
- ・米山梅吉記念館より賛助会ご入会のお祝いと館報 37 号

<拝受>

- ・各務原かかみの、美濃加茂 各 RC より例会変更及び休会のお知らせ
- ・美濃加茂、関中央 各 RC より週報

## 委員会報告

### 河合 修 会員増強委員長

- ・承認済会員候補者への対応について

### 林 健吉 情報責任者

- ・今月の I DM について

## 会長の時間 岩尾 誠 会長



皆さん、こんにちは。4 月になりました。4 日の日曜日には米山記念奨学生カウンセラーの研修会がありますので、平岩さん宜しくお願いします。先ほど気が付きましたが、山川さんと田中さんが胸に付けている緑色のリボンは何ですか？

以下山川さん、田中さんによるリボンの説明  
 シトラスリボン：新型コロナウイルスの感染者や医療従事者に対する差別や偏見のない社会を目指すことを目的に取り組まれている「シトラスリボンプロジェクト」の象徴。郡上市議会ではこのプロジェクトに賛同しており、提案された議員さん手作りのリボンをつけてみえるとのことでした。

## 外来卓話 夢なびふあーむ 高坂孝子様



本日はお招き頂きましてありがとうございます。私は、八幡町小野に住んでおります高坂孝子と申します。私は八幡町那比森の実家の古民家で「夢なびふあーむ」という体験施設をやっ

ております。二組だけの小さなバーベキュー場でバーベキュー、鶏ちゃん、鍋料理、鮎の塩焼き、五平餅など季節の体験をお客様に選んでもらい楽しんで頂いております。主人手作りのピザ釜があり、ピザを作って焼くピザ体験もできます。寒い時期は、お客様のご要望があればこれらの体験を家の中の囲炉裏で頂くこともできます。他にも食事以外に、レジニアクセサリー教室、流木アート、体幹教室もやっています。体幹教室というのは、腹圧を上げ内臓を正しい位置に戻し、免疫力を上げるという体操教室です。これは一昨年インストラクターの資格を取得しました。そして、地域や近所の皆様には月 1 回のバーベキューの集まりを開催し、お年寄りが楽しみにして下さっています。観光サイクリングのお客様は五平餅体験、焼き芋作りなどをしていかれます。実は、今年のゴールデンウィークには郡上高校プラスバンド部の O B が集まっているやかた音楽隊の皆さんをお招きして、オープニングイベント「夢なびふあーむミニコンサート」をやる予定でしたが、コロナのために断念致しました。でも、学校が休みになった子供たちに少しでも楽しんでもらいたいと思い施設を開放しました。秋は芋掘り体験、ウメドキのリース体験を郡上の方々に来て頂き、何とか開催することができました。本当なら四季折々のイベントを開催しようと計画しておりましたが、このコロナ禍でのスタートですので集客もできずイベントも開催できないのが現状です。でも、昨年やってみて、どの人もとても喜んで楽しんでいかれたということが何よりでした。それと、ここはなんでこんなに落ち着くの、初めて来たのにおばあちゃんの家に来たみたいなど、年配の方から若い方まで郡上市内外の方がまた来たいと言って下さいました。少ないながらも手応えを感じることができました。そして、身近な人に来てもらうことで問題点や意見を聞くことができ、昨年自分にとって勉強の一年でした。

では、私がこの施設をやろうとした経緯をお話します。私は勤めをしている頃から、漠然とですが起業をしたいという思いをいつも持っていました。でも、何をするのかということがなかなか見つからず何かヒントがないかと、とにかく起業研修、勉強会など何度も出席していました。たくさんの方からヒントや経営、起業の仕方などを学びました。そんな中、平成 15 年に母が乳がんになり、手術もできないところまで来ていました。両親を自宅に連れてきました。その時、父は認知症、母は乳がんの末期、主人の父は肺がんでした。三人の老人を抱え、仕事を続けながら介護と看護を続けましたが、母は平成 17 年、義父は 18 年、父は 19 年に亡くなりました。母は最期の入院の朝、私の家に手を合わせて出掛けました。主人の父は、私の手を取り「お前のおかげで幸せだった。」と言ってくれました。父は八幡で一番早い八幡病院

の桜が咲いた朝、私がとても嫌な気持ちで2回の病室へ駆け上がると、侍のように「俺は行くぞ。」と私を睨みつけ旅立ちました。この経験は人を送るということ、それは人がこの世に生まれてきて本当によかったと最後に思ってもらえるよう、送る人間は全力を尽くすこと、それをやり遂げることができるのは、たくさんの方の助けがあるからだと親にも周りの方達にも教えて頂きました。こうして両親が亡くなり、私の家は那比の森地区で初めての空き家になってしまいました。私は4人兄弟の末っ子。4人も兄弟がありながら、誰も家を継ぎませんでした。両親が二人だけでいた時、肩身の狭い思いをして暮らしていたことが本当に申し訳ないという気持ちが凄く大きかったです。家に鍵なんてかけたことがないのに、戸締りをしてがらんとした家を眺め鍵をかけて帰る、こんな寂しいことはありませんでした。子供の頃からこの家はいつも人が集まる家でした。私は決心しました。この家に笑顔を取り戻したい。死んだ家にはしたくない。それが私の目標になりました。部屋を改築し、フローリングの部屋と昔あった囲炉裏を作り直しました。たくさんの方々が遊びに来てくれました。みんな一度来ると、私の家を「うち」と言ってくれます。「何かやればいいのに」と言いながら「そうしたら俺たち来れなくなるしなあ」と言ってくれました。10年前、研修の先生から名刺を作りなさいと言われて、「夢なびふぁーむ」、那比とナビをかけて夢を案内する農家、農場と名前だけ決めました。名刺はたくさん配りましたが、みんなに「これ、いつになったらやるの?」と言われ続け、とうとう60歳を迎えました。60歳を節目に、今始めなければもうできなくなる、やらなければ一生悔いが残ると思いました。その頃、古民家カフェなどが流行っていて、ネットを検索していたら「TABICA(タビカ)」というサイトに会いました。一般の人がホストとなり体験を投稿し、TABICAを通じて集客して体験してもらうというものでした。これだと思い、すぐにメールをしたら東京から電話が来たので自分の思いをお話すると、ぜひホストになって下さいと言われて、体験を考え投稿しました。でも残念なことに、サイト自体が関東方面のため中部圏の人にはなかなか見てもらえず、思うような結果は得られませんでした。でも、この体験を考えて投稿したことにより、何をやるのかということが明確になりました。ここで体験施設をやろうと決めました。主人は、全面的にバックアップするから二人でやっとうとうと賛成してくれました。今度は女性起業家研修に行きました。先生も女性で、初めに起業を失敗した女性の話を聞きました。普通、成功例はよく聞きますが、失敗した人の話を聞くのは初めてでした。話の最後に、成功はしなかったけれど失敗じゃなく新たな出発だと、自信を持って言われました。そして今も出来ることを粛々と続け、

新たな起業の準備をしてみえました。私も失敗を恐れて立ち止まっていたはいけないと思いました。また、自分のそうした経験を堂々とお話できるのは凄くことだと感動しました。その時先生から、10人以上に自分のやりたい事を話し、次回に発表するという宿題を頂きました。人に話をするにはその材料が必要だと思い、自分でリーフレットを作りました。それを作るにより、自分のやりたい事がより明確になり具体化することができました。そして、G7という郡上市の7つの町の異業種が集まる会の定例会で話をしてリーフレットを配ると、みんなが凄く喜んでくれ、また問題点も指摘してくれました。その中で、観光サイクリングツアーをしている瀬木さんが「那比?明日モネの池へ行くから那比を通るよ。寄っていい?」と言って、思いもよらず初めてのお客様を連れてきて下さいました。五平餅体験と手摘みのお番茶でおもてなしました。どの人もとてもくつろいで喜んで下さり、ここは人には教えたくないな、大人の隠れ家のように言って下さいました。人をもてなすことは大変だけれど、なんて気持ちいいんだと幸せな気持ちになりました。何よりこの家が初めてお金を生んでくれたことが嬉しかったです。お仏壇にお供えして手を合わせました。ただのぼろい田舎の家だと、今までこの家の良さを何も分かっていなかったのは自分だと気付かせてもらいました。たくさんの方々の人のおかげで、少しずつ事が進んでいきました。その頃私は追突事故に遭い、左の股関節と左の足を痛め足の運びが悪くなっていて、これからの活動をどうしようかと心配していました。そんな時、研修で出会った小野のおがさわら療院さんからコアチューニングという体操を勧められました。これが今やっている体幹教室です。そのコアチューニングに行った帰り道、嘘のように足が軽くなりました。それを朝晩ずっと続けていたら体調が凄く良くなりました。私くらいの年齢になると肩や腰や足を悪くしている人がたくさんいるので、何とかしてみんなを元気にしたいと話すとう、インストラクター取れるよと軽く言われ取りました。那比で教室を始めましたが、コロナになりなかなか集客もできないところに、知り合いが何人か来たいと言って来て下さいました。体操は3回コースで終了なのですが、今月で終わりという時に、来月から来れなくなるのは寂しい、毎月ここに来たいという思いもよらない嬉しいご依頼を頂きました。何故だかわからないけどここは凄く落ち着く、日常を忘れさせてくれて体も楽になって心もリラックスできると言って頂きました。本当にありがたいお言葉でした。それ以来、ピザ体験やリース作りなど、他の体験も織り交ぜながら今も続けさせて頂いています。こうして色々な人が出入りし始めると、地域にもご近所にもご迷惑をお掛けすることになるので、ちゃんと話をしなければならぬと

思いました。でも、ここに住んでいない私達が商売を始めることを理解してもらえるのか、正直反対はされるだろう、迷惑だと言われるだろうという思いはありました。でも、どうしても体験施設をやりたいというこの家への思いと、大好きな那比川に人を呼びたいという思いがありました。那比川の美しさや二本杉のある泉や南天の写真を撮り、自分の思いをご近所の一軒一軒にお伝えしました。お寺様や自治会長にもお願いしました。そうしたら皆さん、よくそんなことを考えてくれたと、とても喜んで下さいました。それまでも、お花見と一緒にしたり野菜の作り方を教えて頂いたりお茶したりと、ずっとコミュニケーションを取ってききましたが、一度皆さんに見てもらおうとご近所の方を誘ってバーベキューをすることにしました。外でバーベキューをして囲炉裏で酒を酌み交わし、最後はカラオケ大会をしました。なんと、11時半から夜の9時まで、皆さんもの凄く喜んで下さり近いところでこんな場所ができて嬉しいと言って下さいました。「来年は南天玉教室をやれよ。俺が講師になってやる。インターネットで人を呼べよ。」そんなことを言って頂きました。そして帰り際、この会を毎月やらしてもらえないだろうかと言われました。こんなちっぽけな私が始めたことを喜んで賛成して頂けたのです。またやりたいと言ってもらえたのです。少しも思っていないでした。故郷はとっても優しくかった。それから毎月第二土曜日、夢なびバーベキューの集いを始めました。去年はコロナで4回しかできませんでした。皆さん楽しみにして下さいます。今まで親たちが皆さんと良い付き合いをしてきてくれたからだと感謝しました。そして、こうして体験施設をやれるのは、両親が誰も継ぐことのないこの家の屋根を葺き替え、自分たちが世話をかけるようになった時のことを考え、台所やトイレやお風呂を改築してくれていたおかげでした。両親やご先祖様に感謝しています。そして令和3年、こんなに皆さんに助けられているのにこのままコロナに負けっぱなしで終わるわけにはいかない、そう思いました。台所を改装して厨房にし、加工食品を製造、販売していきます。うちにはご先祖様が植えた樹齢100年を超える柚子の巨木があります。秋になると黄金色の実をたくさん付けてくれます。それを使った柚子みそ、柚子胡椒、柚子ジャム、他にもふき味噌、梅ジャムなどを予定しています。体幹教室もこんな時だからこそ、皆さんに免疫を高め体力をつけてコロナに打ち勝ってもらいたいので、月一回の定期教室を始めます。そうした矢先、また私を助けてくれる人が現れました。郡上の公民館で美的体操を教えていらっしゃる今園先生から、コアチューニングと合わせて公民館で教えてもらえないだろうか、小笠原さんを通じてご依頼を頂きました。しかも、那比地区の公民館は行ける人がいないから是非やって欲

しいと言われました。でも、私は運動が全然ダメで自分でもまだまだ習得できていないのですが、せっかくこんな機会を与えて頂いたので、今年の秋にはデビューできるように頑張りたいと思います。

こうして自分がやりたいことを信念を持って始めると、こんなにたくさんの人が助けて下さると感謝の気持ちでいっぱいです。そして、何よりの財産だと思っています。コロナが去ったら、子供たちの笑い声が響き、みんなでバーベキューをし、那比川で遊び、ハンモックで風を感じ、囲炉裏で鍋をつつく。こんな日が来ることを願っています。大したことはできませんが、まだまだやりたいことがいっぱい。子供たちの遊び場、山小屋を作ること。みんなで楽しんでみんなで作っていきたい。笑顔が集まる場所、夢なびふぁーむ。思いはこの家を死んだ家にはしたくない、この里山が残る高賀山信仰のふもと那比をもっともっと知ってもらいたい。私が小さなことを始めたら、きっと次の一步を踏み出す人が現れることを信じて、私は微力ながら進んでいきます。どうぞ皆様、こんな私にまたお力を貸して下さい。宜しくお願い致します。今日はこのような機会を頂き、本当にありがとうございました。